

東北地方太平洋沖地震ボランティア活動の報告

ハイスピードコーポレーション株式会社

2011年7月11日 作成

3月11日の東北地方太平洋沖地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様の一日も早い復旧・復興を願い、南三陸町へボランティアに行きました。社内の有志が参加した災害ボランティア活動の内容をご報告いたします。

【活動期間】 第2班:2011年7月5日(火)~2011年7月7日(木)

【参加人数】 8名



1. ボランティア活動

ボランティアは主に「志津川自然の家」近辺の草刈り、伐採を行いました。



自然の家付近の仮設住宅

自然の家の下には仮設住宅が建設されていて、たくさんの方が生活を送っています。

自然の家のグラウンドを使い
足りないところは山を削って敷地を作っていました。

ボランティア活動内容

- ・保育
- ・花鉢作り
- ・チラシ配布
- ・草刈り、伐採



打合せ風景



道具積込み作業



草刈り前



草刈り状況



野薔薇に苦戦中



休憩中



水分補給してもうひと頑張り



チェーンソーにて切断



草刈り後の原生林



他現場にて



伐採前



竹の枝打ち



伐採完了



草刈り・伐採の目的

地元の方は現地復旧のために働いており、
自分の畑や耕地の開拓ができないそうです。

被災された方が開拓した山手に家を建てるとお聞きしました。

ボランティアセンターには、人はたくさんいましたが
草刈りの道具は不足しています。

ボランティアを終えて道具は寄付してきました。

もの凄く喜んでいただけました。



災害ボランティアセンターにて

今回参加した8名

ボランティアを終えて

ボランティアにはたくさんの人達が参加しており、地元の人達と一緒に復興に向けて前進している感じを受けました。

3日間のボランティア活動でしたが、日々風景が変わっていったのがわかる程です。

3日間、自然の家付近でボランティアを行いました。帰る前にもう少し居てよとか次はいつ来るのと言っていたら、これ以上無いお褒めのお言葉をいただきました。

今後も出来る限りの支援を続けていきたいと思えます。

2. 被災地の状況

車の移動中に撮影した被災地の状況を撮影しました。
実際に間近で見ると何とも言えない気持ちになります。
ここで数ヶ月前まで皆さんが普通の生活をおくっていたとは思えません。

RCの建物が土の吸出しにより不同沈下



津波の海水により杉の木が枯れています



地元の小学校



グラウンドに瓦礫を集めてBHで山積みに



地盤沈下して水がひかなくなっています



右下は橋梁の残った橋桁



仮復旧した橋梁





ガードレール下は仮設水道管



病院の3階まで津波が来ています



RC3階の屋上にのった自動車



被災された皆様の一日も早い復旧復興を、心よりお祈り申し上げます。